

2020年度事業報告書

2021年2月22日より2021年3月31日まで

公益財団法人 窓研究所

はじめに

窓研究所は、2018年7月に一般財団法人として設立後、「窓は文明であり、文化である」の思想のもと、窓や建築に関する多角的な知見の収集・発信、また研究や文化事業の助成・開催等さまざまな社会活動をおこなってまいりました。このたびそれらの活動が評価され、2021年2月22日内閣総理大臣より認定を受け、公益財団法人となりました。

今回の移行を機に、創設以来おこなっております活動を継続すると共に、公募による助成や普及啓発などの公益に資する活動をこれまで以上に充実させ、将来にわたって建築文化の向上と豊かな社会に貢献してまいります。

I. 事業 ※事業活動については、公益財団法人への移行前を含む、2020年度の財団としての活動を記載

(1) 研究助成・文化活動助成

建築文化の発展への貢献を目的とし、新規性、独創性が高く学術的、社会的に広がりのある研究・活動に対する助成を行った。選考方法は公募とし、当財団選考委員会により選考を行った。今年度は、研究助成5件、出版助成3件、文化活動助成3件を採択し助成を行った。

(2) 企画展等の開催

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展および知識啓蒙を目的として、企画展等を開催する。企画展等是不特定多数に向けたものとし、必要に応じ、展覧会期間中にワークショップや講演会等を開催するとともに、他の公益財団法人・独立行政法人等と連携し、より広範な深い文化発信を行う。今年度、国内においては一昨年開催した「窓展」の巡回展を開催した。会場の関係で展示の内容はやや縮小され、感染症の拡大を考慮し開催時期も変更となったが、作品解説動画の配信、参加アーティストのインタビュー記事やコラムの配信、サテライト展示、参加人数の制限を設けての会場での作品解説等、来場者の安全を優先しながらも、より深く展示の内容を知ってもらうための工夫を行い、期間を通じ閉鎖することなく開催した。また、海外においては、外務省の戦略的対外発信拠点である JAPAN HOUSE（ロンドン、サンパウロ、ロサンゼルス）にて開催予定だった展覧会が、感染症拡大の影響でロンドン、サンパウロは次年度へ延期、ロサンゼルスは現地の状況を踏まえ WEB サイトでのオンライン開催のみとなった。

(a). 猪熊弦一郎現代美術館での展覧会と関連イベントの開催

開催場所：猪熊弦一郎現代美術館（香川県丸亀市）

展覧会名：「窓展」：窓をめぐるアートと建築の旅（巡回展）

会期：2020年10月13日～2021年1月11日（73日間）

主催：猪熊弦一郎現代美術館、東京国立近代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団、窓研究所

来場者数：7,632人（目標比51%）

(b). JAPAN HOUSEでの展覧会と関連イベントの開催

開催場所：外務省の戦略的対外発信拠点 JAPAN HOUSE（ロサンゼルス）

展覧会名：“Windowology（窓学：窓は文明であり、文化である）”

会期：2020年10月25日～1月3日
開催方法：WEBサイト
主催：外務省
企画：窓研究所
ウェブサイト閲覧者数：15,386人
バーチャルツアー閲覧者数：11,538人

(3) 講演会等の開催

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展および知識啓蒙を目的として、講演会、シンポジウム、トークイベント、研究報告会等を開催する。企画展は不特定多数に向けたものとし、必要に応じ、他の公益財団法人・独立行政法人等と連携し、より広範な深い発信を行う。今年度は、JAPAN HOUSE（ロサンゼルス）での企画展に合わせウェビナーを開催した。

タイトル：「New Views: The Influence of Windows on Architecture and Society」（新たな視点——窓が建築と社会に与える影響）

開催日：2020年12月7日（YouTubeにて生配信）

参加者数：66名

講演者：五十嵐太郎氏、柳井隆氏、フィオナ・ウィルソン氏

(4) 調査研究・資料収集

学術および芸術分野での調査研究・価値のある制作物の収集を行った。

- ・調査研究は、研究テーマ「窓の進化系統学」「スイス：窓のふるまい学」を推進中
- ・価値のある制作物の収集は、書籍等による情報収集を行った。

(5) 普及啓発

建築文化の振興を目的として、それに関する知見を、適切な手法を用いて国内外に向けて広く普及啓発を行う。今年度は、以下の手段を用いて発信を行った。

- WEBサイト、SNS等電磁的方法による情報発信
 - ・WEBサイトでの定期的な記事の制作と更新を行った。新規記事44タイトルを提供
- 出版物、広報誌、印刷物の企画・発行（電子書籍含む）
 - ・カナダの建築博物館CCAとの協業プロジェクトにて「ホンマタカシ写真集」の発行（増刷）を行った。また出版に合わせCCAで開催した展覧会を支援した。
- 他団体の展覧会、出版、文化活動等に対する協賛
 - ・2020年6月～8月に開催された、内藤礼「うつつあう創造」展への協賛した。
- その他普及啓発に必要な広報活動

II. 管理活動

1 理事会に関する事項

2021年3月25日 第12回 理事会の実施

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年6月30日

公益財団法人窓研究所財務諸表に対する注記

貸借対照表
2021年3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	6,582,902	9,842,481	△ 3,259,579
貯蔵品	26,405	25,908	497
未収金	500	500	0
前払金	0	603,943	△ 603,943
前払費用	307,800	307,800	0
流動資産合計	6,917,607	10,780,632	△ 3,863,025
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	21,972,994	4,275,861	17,697,133
当座預金	373,010,672	509,742,458	△ 136,731,786
特定金銭信託	4,850,710,819	4,766,169,551	84,541,268
基本財産合計	5,245,694,485	5,280,187,870	△ 34,493,385
(2) 特定資産			
公益目的引当資産（当座預金）	10,975,023	15,375,023	△ 4,400,000
什器備品	19,812,100	20,729,341	△ 917,241
ソフトウェア	2,737,530	2,844,070	△ 106,540
建物	4,404,768	4,501,496	△ 96,728
建設仮勘定	4,400,000	0	4,400,000
特定資産合計	42,329,421	43,449,930	△ 1,120,509
(3) その他固定資産			
什器備品	1,829,527	1,935,842	△ 106,315
ソフトウェア	1,242,627	1,402,937	△ 160,310
保証金	3,024,000	3,024,000	0
その他の固定資産合計	6,096,154	6,362,779	△ 266,625
固定資産合計	5,294,120,060	5,330,000,579	△ 35,880,519
資産合計	5,301,037,667	5,340,781,211	△ 39,743,544
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,583,958	6,560,412	23,546
未払費用	227,182	4,190,203	△ 3,963,021
預り金	106,467	30,017	76,450
流動負債合計	6,917,607	10,780,632	△ 3,863,025
2. 固定負債			
固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,917,607	10,780,632	△ 3,863,025
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,288,023,906	5,323,637,800	△ 35,613,894
指定正味財産合計	5,288,023,906	5,323,637,800	△ 35,613,894
（うち基本財産への充当額）	5,245,694,485	5,280,187,870	△ 34,493,385
（うち特定資産への充当額）	42,329,421	43,449,930	△ 1,120,509
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正味財産合計	5,294,120,060	5,330,000,579	△ 35,880,519
負債及び正味財産合計	5,301,037,667	5,340,781,211	△ 39,743,544

正味財産増減計算書

2021年2月22日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益振替額	12,381,609	118,579,121	△ 106,197,512
②. 特定資産運用益振替額	0	0	0
③. 事業収益	0	0	0
④. 受取寄付金			0
受取寄付金振替額	30,341,077	12,280,945	18,060,132
現物寄付	0	0	0
⑤. 雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	42,722,686	130,860,066	△ 88,137,380
(2) 経常費用			
①. 事業費	32,746,247	98,236,359	△ 65,490,112
②. 管理費	10,243,064	36,100,126	△ 25,857,062
経常費用計	42,989,311	134,336,485	△ 91,347,174
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 266,625	△ 3,476,419	3,209,794
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 266,625	△ 3,476,419	3,209,794
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
現物寄附金	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券売却損	0	0	0
固定資産除却費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 266,625	△ 3,476,419	3,209,794
一般正味財産首残高	6,362,779	9,839,198	
一般正味財産期末残高	6,096,154	6,362,779	△ 266,625
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	500,000,000	△ 500,000,000
基本財産運用益	12,381,609	164,859,367	△ 152,477,758
受取利息	0	171	
基本財産評価損益等	△ 5,272,817	453,935,751	△ 459,208,568
一般正味財産への振替額	△ 42,722,686	△ 130,860,066	88,137,380
当期指定正味財産増減額	△ 35,613,894	987,935,223	△ 1,023,549,117
指定正味財産期首残高	5,323,637,800	4,335,702,577	987,935,223
指定正味財産期末残高	5,288,023,906	5,323,637,800	△ 35,613,894
III. 正味財産期末残高	5,294,120,060	5,330,000,579	△ 35,880,519

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券

時価法を採用しております。

その他有価証券

時価のあるもの

…決算時の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

時価のないもの

…個別法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及びソフトウェアについては、定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(1)基本財産				
普通預金	4,275,861	45,000,000	27,302,867	21,972,994
当座預金	509,742,458	74,826,658	211,558,444	373,010,672
特定金銭信託	4,766,169,551	619,344,483	534,803,215	4,850,710,819
小計	5,280,187,870	739,171,141	773,664,526	5,245,694,485
(2)特定資産				
公益目的引当資産	15,375,023	0	4,400,000	10,975,023
法人会計引当資産	0	0	0	0
什器備品	20,729,341	0	917,241	19,812,100
ソフトウェア	2,844,070	0	106,540	2,737,530
建物	4,501,496	0	96,728	4,404,768
建設仮勘定	0	4,400,000	0	4,400,000
小計	43,449,930	4,400,000	5,520,509	42,329,421
合計	5,323,637,800	743,571,141	779,185,035	5,288,023,906

(注) 当期増加額及び当期減少額は、基本財産内部及び特定資産内部の増減を除いております。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)
(1)基本財産			
普通預金	21,972,994	21,972,994	0
当座預金	373,010,672	373,010,672	0
特定金銭信託	4,850,710,819	4,850,710,819	0
小計	5,245,694,485	5,245,694,485	0
(2)特定資産			
公益目的引当資産	10,975,023	10,975,023	0
法人会計引当資産	0	0	0
什器備品	19,812,100	19,812,100	0
ソフトウェア	2,737,530	2,737,530	0
建物	4,404,768	4,404,768	0
建設仮勘定	4,400,000	4,400,000	0
小計	42,329,421	42,329,421	0
合計	5,288,023,906	5,288,023,906	0

6. 固定資産の取得価格、減価償却費及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：千円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
(2) 特定資産			
什器備品	28,901,990	9,089,890	19,812,100
ソフトウェア	3,196,200	458,670	2,737,530
建物	5,631,526	1,226,758	4,404,768
小計	37,729,716	10,775,318	26,954,398
(3) その他固定資産			
什器備品	4,535,298	2,705,771	1,829,527
ソフトウェア	3,326,669	2,084,042	1,242,627
小計	7,861,967	4,789,813	3,072,154
合計	45,591,683	15,565,131	30,026,552

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：千円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業管理引当資産	26,344,950
法人管理引当資産	3,996,127
基本財産運用益（事業）	6,190,804
基本財産運用益（法人）	6,190,805
合計	42,722,686

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、内容の記載を省略しております。

財産目録
2021年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金	公益目的事業の運転資金として	5,628,737
		普通預金	管理活動の運転資金として	954,165
	貯蔵品	手元保管 (未使用スイカ)	公益目的事業に供する貯蔵品	119
		手元保管 (未使用スイカ)	管理活動に供する貯蔵品	26,286
	未収金		管理活動に供する未収分	500
前払費用		管理活動に供する前払い分	307,800	
流動資産合計				6,917,607
(固定資産)				
基本財産	預金	普通預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	4,049,003
		普通預金	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	17,923,991
当座預金		公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	73,613,842	
当座預金		管理活動財産として運用益を管理事業に使用している	299,396,830	
特定資産	有価証券	債券 投資信託	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	2,425,355,407
		債券 投資信託	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	2,425,355,412
	公益目的引当資産	当座預金	公益目的事業のために、寄付者より用途を制限された財産である	10,975,023
	什器備品	フィルム、展示品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	10,388,977
	什器備品	壁面収納、テーブル、複合機	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	9,423,123
	ソフトウェア	ウェブサイト制作	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	2,737,530
	建物付属設備	千代田区神田和泉町1-1 照明工事、電気工事、床工事	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	4,404,768
その他固定資産	建設仮勘定	ウェブサイト制作	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	4,400,000
	什器備品	絵画、像、フィルム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,382,879
	什器備品	カメラ、ビデオカメラ、プロジェクター、チェア	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	446,648
	ソフトウェア	ウェブサイト制作	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,242,627
	保証金	日本商事仲裁協会	公益目的保有財産であり、カルネ申請に伴う担保金	3,024,000
固定資産合計				5,294,120,060
資産合計				5,301,037,667
(流動負債)				
	未払金	委託費、給料等に対する未払金等	公益目的事業、法人管理活動に供する備品購入等の未払い分	6,583,958
	未払費用	個人立替費用	公益目的事業、法人管理活動に供する未払費用	227,182
	預り金	源泉税預り金	公益目的事業、法人管理活動に供する預り金	106,467
流動負債合計				6,917,607
固定負債合計				0
負債合計				6,917,607
正味財産				5,294,120,060